

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒業  
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

黒川鶏冠山ー紅葉を愛でてー



黒川山(六本木峠から)

10月中旬、甲州・黒川鶏冠山(1710m)に出かけた。今回は男女取り混ぜたシニアのお仲間との賑やかな山旅である。

大菩薩連嶺の北端にある鶏のトサカに似た岩峰の鶏冠山と、その隣りの三角点標のある黒川山とを合わせて、黒川鶏冠山と呼ぶ。この山はまた、江戸時代に栄えた黒川金山の山としても名高い。山に向かう電車の中では、「もし山で金塊を拾ったらどうしよう」との話題が専らだった。

塩山駅からのタクシーを、9時半柳沢峠で下り、六本木峠へと向かう。緩やかな登り下りの続く道は全山黄葉、全身が黄色に染まるような気持ちのいいプロムナードである。



青空に映える黄葉

所々、目の覚めるような鮮やかな緋色の紅葉に目を奪われる。尾根筋に出たところが六本木峠。ゆるく下って林道を越え、横手峠を過ぎた辺りで黄葉の海は終わり、針葉樹林帯に入る。最後がちょっとした登りで11時45

分、黒川山山頂に着き昼食休憩にした。大勢での食事は楽しい。ご婦人方のザックから食べ物は何やかやと出るわ出るわ、すっかりご相伴にあずかり、幸せなひと時を過ごした。



鶏冠山(黒川山から)

12時半出発、黒川山の肩から10分程も岩尾根を登ったところが鶏冠山山頂。切り立った岩峰上には小さな祠がまつられ、大菩薩嶺から奥秩父にかけての眺めが抜群だった。

鶏冠山からはコースを北に取り、落合部落に向かい下山する。ちょっとした岩場を注意

して下りた後は、まともな雑木林の中ののびやかな散歩道。



鶏冠山山頂

数日前の台風のせい、すっかり散り敷いた落ち葉が色鮮やかなジュウタンとなり、さながら綾錦を踏みしだきながらの下山となった。

黒川山北側をからむのびやかな道が雑木からカラマツに変わると、途端にグングンとした下りになり、14時、落合部落に到着。予約のタクシーを呼んで、いつも馴染みの大菩薩登山口・裂石の立ち寄り湯「雲峰荘」に繰り込んだ。そして湯上りの後は、もちろんビール。それにしても、今頃のシニアのご婦人方はよく飲む。